

タイ王国レムチャバン市下水道インフラ維持管理支援プロジェクト ～ SDGs6. 3（未処理汚水の半減）の達成に向けて～（2022年～2026年）

“一緒にやること”で定着した下水道維持管理

■ **実施団体：**
埼玉県下水道局
(提案自治体：埼玉県)

■ **対象国・地域：**
タイ王国
チョンブリ県
レムチャバン市

■ **現地カウンターパート**
レムチャバン市 下水道担当部局（下水道公社/市役所）

■ **協力内容：**

- ・ 下水管路の清掃・機能回復に関する技術支援
- ・ 下水処理場の効率的運転（設備更新・省工ネ化）に関する技術支援
- ・ 市職員の人材育成および市民向け普及啓発活動の支援

■ **団体のこれまでの取り組み：**

- ・ 埼玉県として長年培ってきた下水道維持管理・運営のノウハウを活用
- ・ 草の根技術協力事業（第1期）を通じた継続的な協力関係の構築
- ・ 下水道公社・民間企業等との官民連携体制を活用した支援実績

■ **事業実施の背景：**

- ・ 急速な都市化が進むレムチャバン市において、下水管路の閉塞や処理場の非効率運転により、未処理汚水が公共水域に流出する課題が顕在化していた。



現地：管路調査の様子

タイ国の課題と成果

課題① 下水管路内の土砂堆積・閉塞により、処理場へ下水が適切に流入していなかった。

成果① 管路清掃と維持管理手順の定着により、処理場への流入下水量が大幅に増加（約360%）

課題② 下水処理場が設計通りに稼働できず、運転効率が低く、電力コストが高止まりしていた。

成果② ポンプ交換や運転方法の改善により、処理水1m³当たりの電力消費量を大幅に削減（約70%削減）



写真：管路清掃を自ら計画し実施している様子

事業の波及効果



下水道維持管理が十分に行われていなかったレムチャバン市において、管路・処理場・人材の3点から支援を行い、持続可能な下水道運営体制の基礎を構築した。

- ・ 技術支援に加え、市職員が自ら記録・改善を行う運用習慣の定着を重視し、マニュアル整備やOJTを通じた能力強化を実施。
- ・ 市民向けワークショップを通じ、下水道に対する理解促進と市民参加を促した。
- ・ 市職員の自発的な設備更新や維持管理の実施に繋がり、事業終了後も改善が継続。
- ・ 官民連携による追加的な技術導入（他スキームとの連携）へと発展。